【事前課題４】

　**次の事例をよく読み、関口さんと山口さんの人物像について箇条書きでまとめてください。（研修２日目に使用します。まとめていただいた内容をもとにグループディスカッションを行いますので、できるだけたくさんの事項を具体的にわかりやすく記入してください。）**

＜　事　例　＞

|  |
| --- |
| 　関口さんは相談支援専門員をしていたが、直接支援がしたいと配置転換を願い出て、今年度から入所施設の生活支援員として勤務する事になった。相談員としての経験を生かし、利用者の立場と視点から支援を考え、施設サービスの質を向上させたいと精力的に業務に励んでいた。ところが最近、なぜか元気がない。サビ管の高梨さんがそれとなく「どうしたの？」と尋ねると、関口さんは「個別支援会議で決められたことが、なかなか職員間で共有されなくて、困ってるんです。」と話し始めた。　先日も、関口さんが早番で出勤した時、利用者の吉田さんの起床介助をすると、夜間もオムツを使用しないことになっていたのに、誰かがオムツを使用していた。当日の夜勤者で年配の山口さんにこの件を聞いてみると「夜間はオムツを使用する事になっていると他の職員が言っていたので、オムツを使用したんだよ。」「へ～、夜間はオムツを使用しないんだ。そんなのいつ決まったの。」と平然と言われた。関口さんが「先日の個別支援会議で決められたでしょ。」と答えると山口さんは「私、出ていないから、そんなこと知らないよ。」と言って足早に食堂に行ってしまった。関口さんは「利用者の支援を統一するために個別支援会議を開催していると思っていたのに、そこで決められたことが職員間で共有されなければ、何のために会議を開いているのかわからなくなってしまいました。」と高梨さんに弱音を吐いた。　高梨さんは、山口さんと面接をした。「吉田さんの件について、個別支援会議で決められたことは知っているの？」と聞くと、山口さんは「知っているけど、夜間に数回起こしてトイレに誘導するより、ぐっすりと眠ってもらうほうが大切だから、オムツをさせました。」と答えた。高梨さんは「そうなんだ、だったらそのことを個別支援会議できちんと言えばいいのに。」とアドバイスすると、山口さんは「関口さんは相談員だったことを鼻にかけて、今までの支援をどんどん変えようとしている。生活支援員としてはまだ新人なのだから、今までのやり方を尊重すべきなのに。」と関口さんの批判を始めた。高梨さんはある程度状況把握ができたが、関口さんに何も説明しないまま数日が過ぎたとき、関口さんから「どうしても他の支援員とうまくいかない。」と相談があった。 |

【事前課題４】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　受講者氏名

サービス提供職員等へのスーパービジョン

《関口さんの人物像を箇条書きでまとめてください。》

|  |
| --- |
|  |

《山口さんの人物像を箇条書きでまとめてください。》

|  |
| --- |
|  |